

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価

令和8年3月吉日

校長 浅井 和行

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/>

E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さを最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童、保護者、教職員による第2回学校評価アンケート(1月)を行いました。その結果をお知らせします。お忙しい中、アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。アンダーラインを引いている箇所は、第1回と比べて、数値が高い箇所です。良くなっているところは、養正校の強みとして考え、課題は今後の教育活動で改善していく所存です。 *数値は%です。

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない プラス…ABの合計 マイナス…CDの合計

		A	B	C	D	プラス	マイナス
①子どもたちは、授業中、すすんで意見を発表し、先生や友達の話をしっかり聞いている。	児童	42.9	43.7	11.6	1.8	86.6	13.4
	保護者	33.4	62.8	3.8	0	96.2	3.8
	教職員	62.5	25	12.5	0	87.5	12.5
②子どもたちは、授業中、ノートをしっかり書いている。	児童	61.6	32.1	6.3	0	93.7	6.3
	保護者	48.7	42.3	7.7	1.3	91	9
	教職員	37.5	56.3	6.2	0	93.8	6.2
③子どもたちは、授業中、タブレットを活用して学習している。	児童	72.3	25.9	0.9	0.9	98.2	1.8
	保護者	39	55.9	3.9	1.3	94.9	5.1
	教職員	50	50	0	0	100	0
④子どもたちは、すすんで読書をしている。	児童	45.5	31.3	17.8	5.4	76.8	23.2
	保護者	20.5	47.4	24.4	7.7	67.9	32.1
	教職員	11.1	72.2	16.7	0	83.3	16.7
⑤子どもたちは、決めた家庭学習をしている。	児童	75	19.6	3.6	1.8	94.6	5.4
	保護者	30.8	51.2	16.7	1.3	82	18
	教職員	33.3	66.7	0	0	100	0
⑥子どもたちは、相手の気持ちを考えて、優しくすることができている。	児童	56.3	37.5	6.2	0	93.8	6.2
	保護者	38.5	56.4	5.1	0	94.9	5.1
	教職員	27.7	66.7	5.6	0	94.4	5.6
⑦子どもたちは、時や場に合った言葉づかいをしている。	児童	34.8	56.3	8.9	0	91.1	8.9
	保護者	37.2	56.4	6.4	0	93.6	6.4
	教職員	41.2	52.9	5.9	0	94.1	5.9
⑧子どもたちは、家や学校でほめられている。	児童	51.8	39.3	8.9	0	91.1	8.9
	保護者	47.5	48.7	3.8	0	96.2	3.8
	教職員	37.5	62.5	0	0	100	0

⑨子どもたちは、困ったことがあれば、家の人や先生に相談している。	児童	51.8	28.5	15.2	4.5	80.3	19.7
	保護者	29.5	62.8	7.7	0	92.3	7.7
	教職員	35.3	64.7	0	0	100	0
⑩子どもたちは、楽しく学校に通っている。	児童	75	21.4	3.6	0	96.4	3.6
	保護者	62.8	34.6	1.3	1.3	97.4	2.6
	教職員	35.3	64.7	0	0	100	0
⑪子どもたちは、学校のルールを守っている。	児童	50.9	42.9	6.2	0	93.8	6.2
	保護者	43.6	53.8	2.6	0	97.4	2.6
	教職員	33.3	61.1	5.6	0	94.4	5.6
⑫子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。	児童	67	19.6	11.6	1.8	86.6	13.4
	保護者	16.8	35.7	38.5	9	52.5	47.5
	教職員	73.4	13.3	13.3	0	86.7	13.3
⑬子どもたちは、気持ちのよいあいさつをしている。	児童	82.1	14.3	3.6	0	96.4	3.6
	保護者	33.3	56.4	9	1.3	89.7	10.3
	教職員	55.6	33.3	11.1	0	88.9	11.1
⑭子どもたちは、すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	60.8	27.7	9.7	1.8	88.5	11.5
	保護者	30.8	44.9	19.2	5.1	75.7	24.3
	教職員	44.4	38.9	11.1	5.6	83.3	16.7
⑮子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	50.9	33.9	14.3	0.9	84.8	15.2
	保護者	20.5	53.8	23.1	2.6	74.3	25.7
	教職員	6.3	81.2	12.5	0	87.5	12.5
⑯子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。	児童	52.7	35.7	10.7	0.9	88.4	11.6
	保護者	32.1	56.4	11.5	0	88.5	11.5
	教職員	12.5	87.5	0	0	100	0
⑰学校は、整理整頓され、学習環境が整っている。	保護者	48.7	46.2	3.8	1.3	94.9	5.1
	教職員	35.3	64.7	0	0	100	0
⑱学校は、学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	保護者	73.1	25.6	1.3	0	98.7	1.3
	教職員	58.8	35.3	5.9	0	94.1	5.9
⑲学校は、PTA・地域と連携した教育を進めている。	保護者	70.5	29.5	0	0	100	0
	教職員	64.7	35.3	0	0	100	0

第1回の課題と比べて

設問⑫子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。に対する取組

設問⑫については、教職員のプラス評価が、前期の 76.5%から後期は 86.7%へと 10.2%高くなりました。一方で、児童のプラス評価は、前期の 88.3%から後期は 86.6%へと微減しています。また保護者のプラス評価も前期の 55.1%から 52.5%へとさらに低下しています。保護者のマイナス評価 47.5%は、全項目中で最も高くなっています。このことから、学校では情報モラルの授業や保健指導などを通して、過剰なスクリーンタイムが生活習慣に与える影響について指導しているものの、家庭でのルールづくりやメディアの長時間利用に依然として課題が残ることが見てとれます。

設問⑮子どもたちは、早寝早起きごはんの生活習慣が身についている。に対する取組

設問⑮については、教職員のプラス評価が、前期の 77.8%から後期は 87.5%へと 9.7%高くなりました。一方で、児童のプラス評価は、前期の 90.1%から後期は 84.8%へと低下しています。また保護者のプラス評価も前期の 77.5%から 74.3%へと低下しています。このことから、児童や教職員の評価は比較的高いものの、保護者との間に大きな認識のずれがあることが見てとれます。また学年が上がるにつれて早寝早起きができていない実態があり、メディア利用との相関も懸念されます。今後は、引き続き生活しらべや保健指導などを通して、児童の生活習慣の意識向上を目指すと共に、実際の生活習慣改善に向けて保護者と連携しながらサポートを続けていきたいと思います。

第2回目の課題

設問④子どもたちは、すすんで読書をしている。に対する取組

設問④については、児童・保護者・教職員の全属性で、プラス評価の減少が見られました。児童のプラス評価が、前期の 85.5%から後期は 76.8%へと 8.7%低下しました。また、保護者のプラス評価は、前期の 68.8%から67.9%と微減しました。そして、教職員のプラス評価は、前期の 88.9%から後期は 83.3%と 5.6%低下しました。このことから、児童が本を読む時間が前期と比較して減少してしまっていることが見てとれます。児童や保護者だけでなく、教職員のプラス評価も下がっていることから、家庭だけでなく、学校での読書時間が減少している可能性があります。また、設問⑮と同様に、学年が上がるにつれて、すすんで読書ができていない実態があり、読書時間の減少もメディア利用との相関が懸念されます。今後は、学校司書や図書委員会と連携しながら、読書週間を皮切りに児童がすすんで読書に取り組みたくなる機会を意図的に設定していきたいと思います。

設問⑫子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。に対する取組

前期でも課題に挙げられていた設問⑮については、メディア利用に関する約束が決められていなかったり、決められていたとしても、児童が十分に守れているとは言えない状況にあったりすることから、引き続き重点課題とします。今後は、引き続き情報モラルの授業や保健指導などを通して、児童のメディア利用に対する意識向上を目指すと共に、家庭でのメディア利用についての約束づくりのサポートに、より一層力を入れていきたいと思います。

自由記述欄より

〇いつも子供を温かく、時には厳しく見守っていただきありがとうございます。養正小学校には、いつも安心して子供を送り出すことができます。今後とも、どうぞ子供達をよろしく願います。
〇担任の先生をはじめ、学校の先生方がいつもあたたかく見守り関わってくださっているおかげで、息子は毎日イキイキと楽しく学校へ通っています。その姿を見て親も嬉しいですし、安心して朝から見送れます。いつも、ありがとうございます。
〇子供が学校に行きたくないと言って遅刻していく時にも、いつもあたたかく子供を迎えてくださって感謝しています。
〇いつもありがとうございます。学校に毎日楽しく通えるのも先生方のおかげです。お友達の話もたくさん聞けて、充実

した日々を過ごせているなど思っています。
〇いつも子どもたちへの丁寧な対応をありがとうございます。小学生の時にしっかりと挨拶する習慣をつけて頂いていることが卒業後も様々な場面で役立っているな、と中学生の姉を見ていて感じています。
〇楽しく学校に通ってくれています。いつもありがとうございます。
〇先生方が子どもの様子に気を配り細やかに声かけをして下さっているおかげで、子どもが安心して学校に通えています。いつもありがとうございます。また、子どもたちが異学年で遊んで交流を深められるのは養正小の良いところだなと思っています！
〇授業中に自然によく笑い声があることがとても良かったです
〇先生方には大変良くいただき、実りある6年間を過ごすことができました。小規模校だからこそ皆顔見知りで、あたたかい交流ができていたように思います。子ども達は礼儀正しく、元気いっぱい仲間思いに育ちました。中学校に行っても、新しい出会いや経験を通して成長していってもらえると嬉しいです。6年間ありがとうございました。子ども達にとってはいつまでも大切な母校です。

教職員や学校の取組に対して、多くの励ましや温かい応援、感謝のメッセージをありがとうございます。教職員一同、今後も元気に子どもたちを支え、ともに楽しい学校を創っていきたいと思っております。

〇人権について学ぶことは大切なことですが、通常の家訪問と別に人権に関する家庭訪問が必要なのか疑問に思いました。年度末にかけて行事の多い時期でもあり、隔年にするなどしても良いかと思います。

ご意見ありがとうございます。人権の大切さについては、全ての教育活動を通して子どもたちに学んでほしいと思っており、子どもたちを共に育てる大人どうしの意見交流や人権意識をさらに磨いていくための場は必要だと考えておりますが、ご負担を強いて進めることは本意ではありませんので、取り組み方については校内でも検討していきたいと思います。

〇宿題に関しては、クラスでどの子も一律に出されるのなら、もう少し量を減らしていただけないかと思います。

日頃より、お子様の学習を温かく見守っていただき、ありがとうございます。家庭学習や宿題については、子どもたちにとって基礎学力や学習習慣の定着など、様々な視点から検討すべき課題だと捉えています。一律の課題として出している内容と、自学など個別の内容や方法を選んで取り組むものとのバランスを考え、子どもたちが前向きに取り組み、力をつけられるよう、校内でも様々な方法を模索していきます。ちなみに京都市では令和8年度の教育の重点の中に、「日々の授業と家庭学習との連動を通した自学自習の習慣化」を掲げており、本校でも重点的に取り組んでいきたいと考えております。

〇タブレット学習について国の方策では推進していますが、諸外国では一度推進し積極的に取り入れたものの、結果的に学力低下が顕著となり、推進から180度転換しています。また日本国内においてもタブレットを含む、学習のデジタル化の弊害について専門家が警鐘をならしています。これらのことについては、先生方もよくご存知かと思いますが、以上の観点から教育現場では必要以上にタブレットを使わないでほしいと思っています。

ご意見ありがとうございます。諸外国の動向や専門家の警鐘など、お子様の学びを案じる切実な思いを真摯に受け止めております。本校でも、ICT機器はあくまで「道具」の一つであり、万能ではないと認識しています。過度な利用による思考力の低下や、鉛筆で「書く」ことの重要性は、現場でも議論している点です。アナログの良さを主軸に据え、ICTは効果が明確な場面に絞って活用するように、学校全体でバランスを意識していきます。

学校運営協議会より

〇子どもたちの ICT 機器の利用時間が増加する中で、今後 AI に触れる機会も増加してくることが考えられます。AI は便利な反面、利用者が望む回答がすぐに得られることから、過度な使用により、子どもたちが自分で考える力が失われてしまう可能性があります。小学校では、対話や自分で物事を考えることを十分に経験させることを通して、子ども達の感性やひらめき、発想力を育てていって欲しいと思います。子ども時代に身についた感性や力は大人になっても残ります。